

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第4週)

宮城県【平成26年01月30日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.1.20 ~ 1.26 ・ 第4週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙台市		宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第1週	第2週	第3週	第4週
水痘	7 1.40	10 1.00	2 0.40	1 0.50		15 3.00	4 2.00	15 0.58	54 0.93	261	◎→	◎→	◎→	◎
流行性耳下腺炎		2 0.20	2 0.40		2 0.67		1 0.20	2 1.00	5 0.24	59	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	92 18.40	175 17.50	73 14.60	22 11.00	61 20.33	71 14.20	16 8.00	443 17.04	953 16.43	2,793	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		1 0.10							1 0.02	7	→	→	→	
伝染性紅斑		17 1.70	1 0.20			2 0.40		25 0.96	45 0.78	144	レ→	○→	○→	○
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	2 1.00	21 0.81	43 0.74	117	→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	91 11.38	106 7.07	119 14.88	24 8.00	51 10.20	132 16.50	80 20.00	457 10.88	1060 11.40	1,918	○→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	1 0.20		1 0.20	1 0.50			1 0.20	5 0.19	9 0.16	36	→	→	→	
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29 5.80	44 4.40	13 2.60	16 8.00		27 5.40		65 2.50	194 3.34	475	レ→	○→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		1 1.00		1 1.00			6 6.00	1 0.20	9 0.75	26	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	9 0.90		2 1.00		2 0.40		12 0.46	26 0.45	103	レ→	○→	○→	○
拡張疾病 不明発疹症		1 1					2 1	3 1	3 1	5 1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1 1.00			3 3.00	1 1.00		5 0.42	6				

※

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし  
2類感染症: 結核
- 仙南管内 女性1名
  - 塩釜管内 男性2名
  - 大崎管内 男性1名、女性1名
  - 仙台管内 男性1名(2013年第48週)、男性4名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし  
4類感染症: 報告なし  
5類感染症: アメーバ赤痢
- 栗原管内 男性1名
  - 梅毒
  - 塩釜管内 男性1名(第3週)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 16例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

#### 【インフルエンザ】

大崎、石巻管内で注意報継続中。  
仙南、登米、気仙沼、仙台管内で注意報値を超えた。

#### 【感染性胃腸炎】

登米管内で警報継続中。  
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]  
栗原管内で警報値を超えた。

#### 【病原体検出情報】

##### ～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より

大崎管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件  
登米管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件

インフルエンザ患者より

登米管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 2件  
第4週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 2件  
気仙沼管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 3件  
インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件

感染性胃腸炎集団発生事例より

仙南管内 第4週採取分 ノロウイルスGII 3件

##### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第2週採取分 (1.6～1.12)	第3週採取分 (1.13～1.19)	第4週採取分 (1.20～1.26)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm	1件	0件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	1件	0件
RSウイルス	0件	3件	1件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
サトマガロウイルス	0件	0件	1件

#### 【インフルエンザ】

先週回は「インフルエンザ注意報」を発令しましたが、大崎、石巻管内に加え、今週新たに仙南、登米、気仙沼、仙台管内でも注意報値を超えました。また、インフルエンザによる入院患者数も増加しています。今後も流行の拡大に十分注意が必要です。

インフルエンザの予防・対策等は下記HPを参照、活用ください。

・厚生労働省 インフルエンザQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

・インフルエンザ予防チラシ

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86901.pdf>

・インフルエンザ様疾患による学校の措置状況地図

<http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/flumap/public>

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第51週	21.7	21.7	30.4	0.0	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	4.3	4.3	23
第52週	28.6	50.0	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	28
2014年 第1週	7.8	15.6	15.6	7.8	10.9	17.2	12.5	9.4	3.1	0.0	0.0	64
第2週	20.2	21.0	14.4	6.2	7.8	12.3	7.8	4.5	2.5	2.5	0.8	243
第3週	22.7	28.7	13.6	3.6	5.6	9.6	7.3	5.1	2.4	1.3	0.2	551
第4週	19.7	36.8	16.0	2.7	4.1	8.3	4.8	4.1	2.1	0.8	0.7	1060

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第1・2週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(13.10)、岐阜県(8.17)、高知県(6.50)である。入院サーベイランスにおける報告数は162例と前週と比較して増加した。RSウイルス感染症: 報告数は1,694例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(1.33)、山口県(1.21)、大分県(1.06)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(13.04)、徳島県(12.04)、香川県(9.90)である。水痘: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.83)、茨城県(2.56)、鹿児島県(2.24)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(0.60)、岩手県(0.53)、福島県(0.43)、沖縄県(0.43)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 増加した。都道府県別では21都道府県から33例報告があった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。  
( )内の数字は定点当たり報告数となります。